

ソーシャルワーク演習 I (現代福祉学科)

評価項目	S～A(33～27点)	B(26～24点)	C(23～20点)	D(1つでも該当すると不合格)
社会福祉士及び精神保健福祉士の知識・技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形態により、講義等と関連させながら、個別指導ならびに集団指導を通してその精度を高めつつ習得する(D)。	教員の助言を参考に、社会福祉士及び精神保健福祉士の知識・技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形態により、講義等と関連させながら、個別指導ならびに集団指導を通してその精度を高めつつ習得することができる。	教員の指導の下、社会福祉士及び精神保健福祉士の知識・技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形態により、講義等と関連させながら、個別指導ならびに集団指導を通してその精度を高めつつ習得することができる。	教員の手厚い指導の下、社会福祉士及び精神保健福祉士の知識・技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形態により、講義等と関連させながら、個別指導ならびに集団指導を通してその精度を高めつつ習得することができる。	社会福祉士及び精神保健福祉士の知識・技術を、具体的な事例や援助場面を想定した実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形態により、講義等と関連させながら、個別指導ならびに集団指導を通してその精度を高めつつ習得することができない。
学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する(D)。	教員の助言を参考に、学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養することができる。	教員の指導の下、学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養することができる。	教員の手厚い指導の下、学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養することができる。	学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養することができない。
演習のなかで、具体的に人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、総合的かつ包括的な援助を実際に行動できるようにする(D)。	教員の助言を参考に、演習のなかで、具体的に人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、総合的かつ包括的な援助を実際に行動できる。	教員の指導の下、演習のなかで、具体的に人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、総合的かつ包括的な援助を実際に行動できる。	教員の手厚い指導の下、演習のなかで、具体的に人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、総合的かつ包括的な援助を実際に行動できる。	演習のなかで、具体的に人権尊重、権利擁護、自立支援について理解し、総合的かつ包括的な援助を実際に行動できない。

※評価は、評価項目についてそれぞれ「S～A:33～27点」「B:26～24点」「C:23～20点」とし、「D」は1つでも該当した場合は不合格となる。

※評価項目内の(D)は、ディプロマポリシーと対応する項目を指す。